

1999年と2000年のマハーシヴァラートリ

ジョン・バーナー氏



それは1999年のマハーシヴァラートリで、サイ・クルワント・ホールでのことでした。バジャンの間に、尋常でないことが起こり始めました。スワミはたくさん水を飲んでおられましたが、その後スワミの口から神聖なリングムが出てきたのです。続いて行われた御講話の中で、スワミはおっしゃいました。

「このリングムが顕現した時にそれを見た者はだれであれ、再び生まれることはありません。人は、リングムが顕現した時にその姿形を見るべきです」

私はその場にいませんでした。私たちは家でそのニュースを聞きました。しかし、その日の御講話を読んだ時、スワミが「これはもう一度、起こる可能性があります」と、おっしゃったことに気が付きました。

そこで、私たちは2000年のマハーシヴァラートリには確実にプラシャーンティにいくようにしました。スワミは、この種の顕現は神の御前でのみ見られるものであり、他のどこでも見られない、とおっしゃっていました。このことを知っていたので、私はその夕方はベランダで一番乗りになるようにし、スワミの玉座からわずか3メートルの最前列の席を確保しました。

バジャンが始まり、スワミが来て玉座にお座りになり、頻繁に水を飲み始められました。バジャンは最高潮に達し、だれもがもうすぐリングムが現れると感じました。そして、それは起こりました。リングムがスワミの口から出てきたのです。私はそれを見ました。リングムが出てくる瞬間を見ました。その姿形を見ました。私は解脱しました！ これほどの高揚感は後にも先にも経験したことがありませんでした。

その後、スワミの神聖な御講話がありました。しかしその御講話の中で、スワミは私たち全員が解脱したことに言及なさいませんでした。スワミが何かを見落とされることは決してありませんが、この詳細な説明はお忘れになっていたに違いありません。



翌日、イタリア人のあるグループがインタビューに呼ばれた時、私はまだかなり上機嫌でした。インタビューの中でグループの1人が、前夜スワミの口からリングムが出てくるのを目撃した全員が解脱したのでしょうか？と尋ねました。

スワミはおっしゃいました。「これは解脱を授けるシヴァ・リングムではありません。今年、物質化したのはアートマ・リングムです。この類のリングムは、瞬間

的に解脱を与えるものではありませんが、それを見た人がたくさん無私の奉仕をすれば〔解脱を〕手に入れることができます」

スワミがおっしゃったことを聞いた時、私のバブル〔泡のような幻想〕は弾けました。無私の奉仕をたくさんしていない限り、もはや解脱はありませんでした。

それ以来、私は約束されたことに値するよう一生懸命働いています。同じ境遇にある私たち全員が、ゴールに辿り着くことができますようお祈りいたします。

オームが神の言葉による象徴であるように、リングムは神性の象徴的な姿形です。それは単なる姿形にすぎません。すべてはマーヤー(迷妄)であり、それを理解するにはマーヤーに対処しなければなりません。でなければマーヤーシャクティ(迷妄の力)に気付くことはできません。生命が卵に内在しているように、神は宇宙に内在しています。鶏は卵のあらゆる部分にいますが、それと同じように、神も世界のあらゆる場所にいるのです。

—— 1959年2月2日 マハーシヴァラートリの御講話より

出典：<https://www.sathyasai.org/events/festival/mahasivarathri-memories>